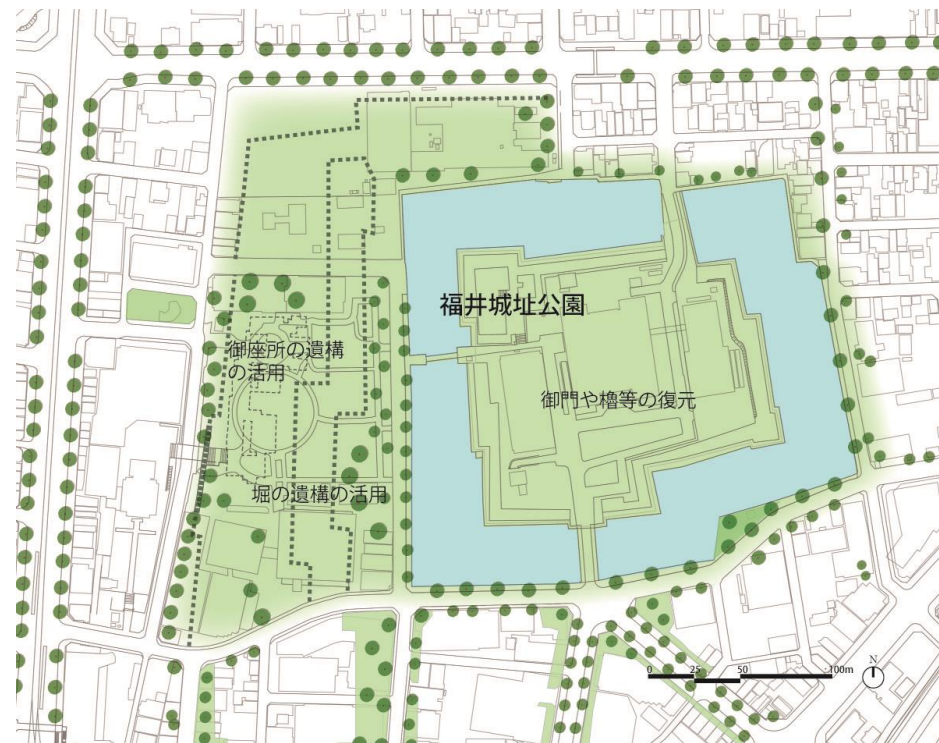


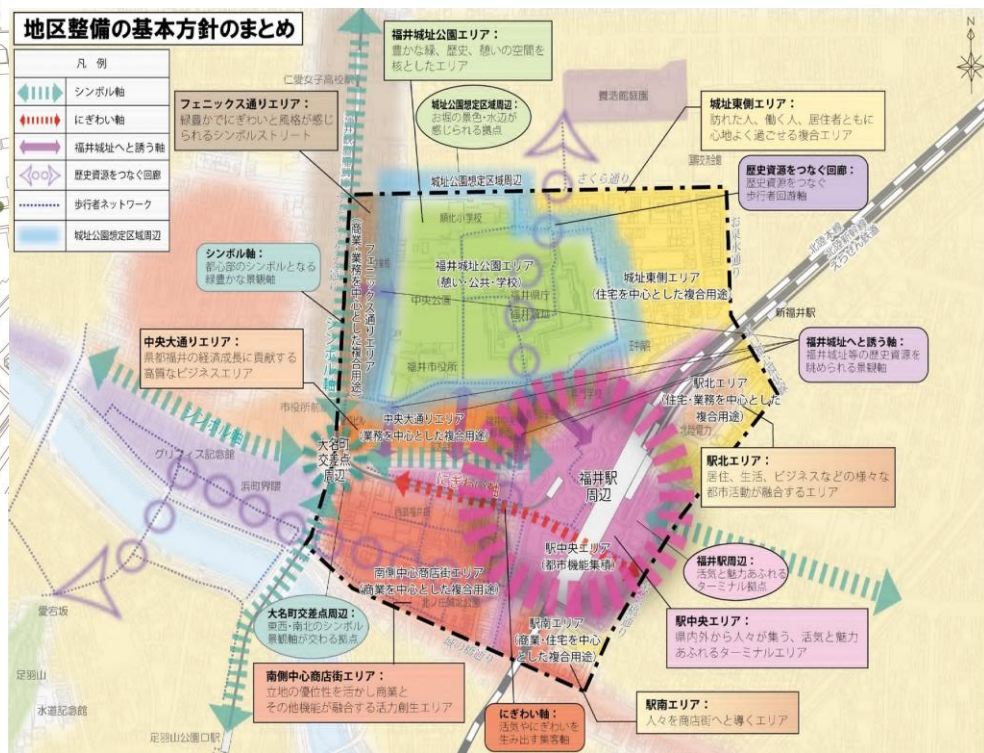
1. 中心市街地における福井城址の位置付け
2. 公共施設等の長寿命化に関する計画
3. 県庁舎建替えの経緯と建替え時の各種団体からの意見
4. 城址の有効活用事例（まちなかオープンスペース）

1. 中心市街地における福井城址の位置付け

駅と行政機関、商業施設がコンパクトにまとまっている中心市街地において、「福井城址」は豊かな緑や歴史、憩いの空間の核として、城下町福井を象徴するもの



福井城址公園の想定区域（県都デザイン戦略 H25.3策定）



中心市街地における地区整備の基本方針
（福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画 H30.1策定）

2. 公共施設等の長寿命化に関する計画

○公共施設等の長寿命化に関する計画

- ・ 福井県公共施設等総合管理計画（H28.3策定）
使用目標年数 80年に設定
- ・ 福井市公共施設等総合管理計画（H28.3策定）
使用目標年数 70年に設定



[参考]

○主な公共施設等の築年数

県庁舎	1981年竣工（築40年）	市役所（本館）	1975年竣工（築46年）
県警本部庁舎	1988年竣工（築33年）	市役所（別館）	1962年竣工（築59年）※2
県議会議事堂	1966年竣工（築55年）※1	福井市企業局	1964年竣工（築57年）
県立美術館	1977年竣工（築44年）		
県立歴史博物館	1984年竣工（築37年）		

※1 県庁舎および県警本部庁舎の法定耐用年数に合わせるため、2007年に県議会議事堂の耐震改修を実施

※2 県都デザイン戦略の長期目標年次（2050年）における県庁舎・市庁舎の移転・再配置を念頭に、市役所（本館）と移転時期を合わせるため、2018年に市役所（別館）の耐震改修を実施

3. 県庁舎建替えの経緯

(1) 県庁舎が現在地に移転 (出典：福井県史、福井市史)

県庁舎は、かつて現在の西武福井店付近に位置していたが、駅前で都市化が進み、新たな開発用地が必要となったことから現在地に移転

1919年 (大正 8年) 松平家から福井城址本丸跡地を無償譲渡

1923年 (大正12年) 県庁が本丸跡地に新築移転

(2) 県庁舎が現在地で建替え (出典：福井県「福井県庁舎の建設概要について」)

1960年 (昭和35年) 県議事堂改築の問題とともに、県庁舎の建設地 (現在地での建替えか福井市郊外) について議論開始

1965年 (昭和40年) 福井国体の開催準備のため議論が中断

1972年 (昭和47年) 建設候補地の選定を行う県庁舎建設対策委員会 (県議会議員7名、理事者7名) を設置

⇒ 建設候補地6か所 (現在地のほか福井市郊外の候補地5か所) を選定

1973年 (昭和48年) 県議会に県庁舎建設調査特別委員会 (県議会議員13名) を設置

⇒ 現在地を含む3か所の建設候補地に絞り込んだが、1つに絞れず、両論併記 (現在地か市郊外) で委員会は解散

1975年 (昭和50年) 3か所の建設候補地のうち、次の理由から「現在地が適地である」と知事が表明

①交通面での利便性が最も高い

②用地取得費の財政負担がない

③官公署との連携がとれる

1981年 (昭和56年) 県庁舎竣工

3. 県庁建替え時の各種団体からの意見

■ 各種団体からの意見（一部抜粋）

○ 福井の文化を考える会（1975年1月）

久しく武士行政の府として在った城の跡に、平和と自由の文化の殿堂が誕生すれば象徴的であること、交通の便が良く、県民のものとして意義が大きいこと、城址そのものが外部と隔絶された空間で、独立した芸術作品であることから、文化施設の建設が望ましいとした。

意見：県庁舎を現在地から撤去し、美術館・図書館等を建設

○ 福井県文化団体こんだん会（1975年2月）

福井城址は近世の文化財として貴重であり保存が必要なこと、庁舎が再建された場合景観的に望ましくないこと、城址内が行政機能で占有され、城址内を見ることができないことから、城址の保存と公園化が望ましいとした。

意見：県庁舎を近傍地へ移転。城址は歴史文化財として整備保存。県民市民の憩いの場所化

○ 新建築家技術者集団 福井支部（1975年12月）

県庁舎を建設すると、福井城跡やお堀、石垣など文化、歴史的な遺産を破壊すること、都市景観上好ましくないことに加え、郊外移転は住民の立場からマイナス面が多いとし、県庁舎の中央公園西側への移転と、移転後は城址公園として県民・市民の憩いの場とする計画を示した。

意見：県庁舎を中央公園西側に移転。跡地は城址公園として憩いの場（芝生広場や総合文化センターを整備）

[その他の意見]

○ 福井商工会議所（時期不明）

県庁舎などの跡地を公園化

○ 福井県観光連盟（時期不明）

県庁舎などの跡地を公園化

○ 駅前商店街（時期不明）

現在地での改築

○ 嶺南市町各種団体長（1973年12月）

県庁舎を嶺北・嶺南の中間地点で交通至便の地に移転

○ 地元住民など（1973年12月）

現在地での改築

○ 敦賀商工会議所（1974年12月）

現在地での改築

4.城址の有効活用事例（まちなかオープンスペース）

駿府城（静岡市）

駿府城は静岡市の歴史的な名所として位置付けられ、城址内は公園となっている。市政100周年を記念して1989年（平成元年）に異櫓が復元され、その後1991年（平成3年）に策定した「静岡市駿府公園基本計画（以下、基本計画という）」に基づき、段階的に櫓や門が復元され、2016年（平成28年）からは将来的な天守の整備方針を決定するための発掘調査が行われた。また若年層や子育て世代などが訪れる魅力ある公園とするため、2017年～2018年（平成29～30年）にかけて、城址資源を利活用した様々な取り組みを実施した（ユニークベニユ어의推進）。

〈ユニークベニユ어의推進の取り組み内容〉

- | | |
|--|--|
| A 過去へタイムスリップ～歴史体験施設～
・展示を体験型へ更新
・ガイドツアーの実施 | D 駿府城公園「青空カフェ」
・キッチンカーを3台程度設置 |
| B ボートによるお堀の水辺活用
・イベント時の乗船体験 | E 国内屈指の屋外芸術公園化
・屋外演劇公演の実施
・芸術イベントの実施 |
| C ランニング等の環境整備
・ランニングステーションの設置
・コースマップの配布 | F 紅葉山庭園の迎賓館の活用&ランチ
・パーティーの試験的開催
・ケータリングによるランチの提供 |

駿府城公園（基本計画に基づいて整備）

- 基本方針 「歴史遺産の保存・再整備」
「都心の公園機能の強化」
「防災機能の確保」

○公園の整備

- 1949年（昭和24年） 駿府公園（当時の名称）として整備
- 2001年（平成13年） 紅葉山庭園整備
- 2015年（平成21年） 富士見芝生広場整備

○城郭施設の整備

- 1989年（平成元年） 異櫓の復元（市政100周年記念）
- 1996年（平成8年） 東御門の復元
- 2014年（平成26年） 坤櫓の復元

※上記施設はいずれも資料館として利用

○その他取り組み

- 2016～2020年（平成28年～令和2年） 天守台発掘調査
- 2017～2018年（平成29～30年） ユニークベニユ어의推進



4.城址の有効活用事例（まちなかオープンスペース）

米子城（鳥取県米子市）

米子城では4年ほど前から石垣のライトアップイベントを開催し、人気を博している。

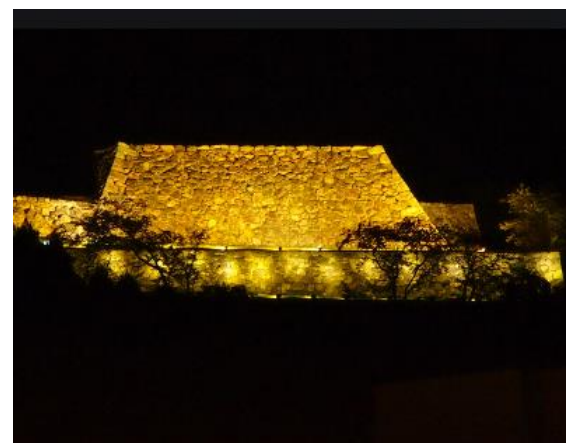
また、近年では米子城に隣接する野球場を閉鎖し、三の丸広場として整備が予定されている。

〔短期的活用〕 天守台石垣のライトアップ

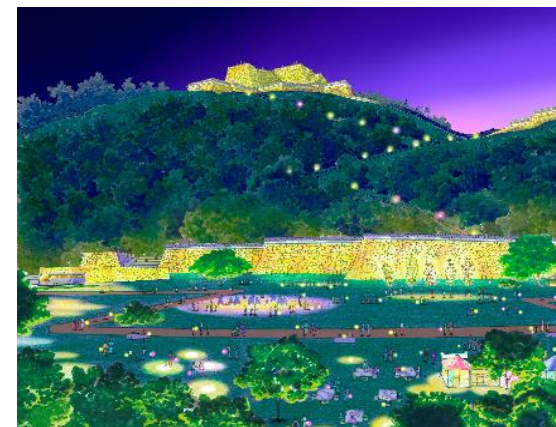
- ・春と夏に1～2週間程度でライトアップを開催
- ・ナイトガイドツアーやまちなかの各施設とのライトアップ連動企画も実施。

〔長期的活用〕 三の丸広場の整備

- ・元市営球場を閉鎖し、三の丸広場として整備予定



ライトアップの様子



将来的な整備後の
夜間風景



整備位置



三の丸広場将来構想図

4.城址の有効活用事例（まちなかオープンスペース）

■福井城に類似する城の事例

城名	類似点	方向性	取り組み
甲府城	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅、県庁から至近 ・ 試農場の歴史 ・ 県庁所在地の城 	歴史 にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城郭施設（鉄門など）の復元 ・ 国史跡の指定 ・ 城址周辺に城下町を模した飲食・物販エリアなどの設置（令和4年頃一部完成予定）
高槻城	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城跡が公園 ・ 公共施設が立地 	にぎわい 憩い 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高槻城公園芸術文化劇場」（1,500席の大ホールや200席の小ホール、練習スタジオを併設）の設置 ・ 公園の再整備

甲府城

甲府城周辺地域の活性化基本計画
甲府城周辺地域活性化基本計画
甲府駅南口駅前広場の再整備実施計画
平和通りの再整備実施計画
飲食・物販エリア

甲府城址周辺の状況

城郭施設の復元（鉄門、H25）

飲食・物販エリアのイメージ

高槻城

北館（文化ホール）【既存】
公園再整備エリア（文化劇場跡地）
高槻城公園芸術文化劇場【新設】（野球場、市営駐車場跡地）
高校（本丸跡地）
しろあと歴史館
市民館
中学校

高槻城址の状況

高槻城公園芸術文化劇場 外観イメージ